

文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	千葉県	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	千葉県文化遺産活用活性化事業実施計画		
4 実施計画期間	平成 23 年度 ～ 平成 31 年度		
5 実施計画の概要			
<p>千葉県教育振興基本計画（第1期：平成22～26年度・第2期：平成27～31年度）を踏まえ、次の事業を実施する。</p> <p>「地域の文化遺産を活かした地域活性化事業」</p> <p>地域固有の建造物等の保全活用を促し、地域の個性（伝統文化）を活かしたまちづくりや景観形成を推進する。また、民俗芸能など無形民俗文化財の継承を支援する。</p> <p>千葉県では千葉県教育振興基本計画で「ちば文化の継承と新たな創造」を施策のひとつにあげ、その取り組みとして、文化にふれ親しむ環境づくりと文化財の保存・継承を2つの柱に据えている。</p> <p>この「ちば文化の継承と新たな創造」を実現するためのひとつの取り組みとして当事業を実施するものであり、実施計画期間は教育振興基本計画の終期である平成31年度までと考え、無形民俗文化財の活性化と、有形文化財（建造物）の保全・活用に係る事業を実施する。</p> <p>千葉県無形民俗文化財連絡協議会</p> <p>1 情報発信・人材育成事業 千葉県民俗文化財マップ作成事業（平成26年度） 無形民俗文化財ガイド作成事業（平成29～31年度）</p> <p>2 普及啓発事業 千葉県無形民俗文化財（民俗芸能）上演事業（平成23～27年度） 端午の節供風揚げ大会（平成30～31年度）</p> <p>3 記録作成・調査研究事業 千葉県民俗文化財記録映像作成事業（平成23～31年度）</p> <p>千葉県建築士会事業計画</p> <p>1 情報発信・人材育成事業（平成23～31年度） 地域の歴史的建造物の保全・活用に係る専門家育成事業</p> <p>2 普及啓発事業（平成23～28年度） 地域の歴史的建造物の保全・活用策提案事業</p> <p>3 記録作成・調査研究事業（平成23～28年度） 歴史的建造物の掘り起こし事業</p>			
6 実施体制			
<p>千葉県が、本実施計画に係る指導等を行う。担当課と役割は下記のとおりである。</p> <p>教育庁教育振興部文化財課：各補助事業における文化財の取り扱い等に関する指導・調整等。</p> <p>また、補助事業は、次の団体が実施する。</p> <p>千葉県文化遺産継承実行委員会（委員長 教育振興部長）</p> <p>構成団体：千葉県無形民俗文化財連絡協議会 一般社団法人千葉県建築士会</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成28年度交付決定額： 31,531 千円	平成29年度申請額： 2,412 千円
	(2) 実施事業の概要	<p>千葉県文化遺産活用活性化事業</p> <p>①「坂戸の念仏」記録映像作成事業</p> <p>②歴史的建造物の保全・活用のための専門家育成カリキュラム</p>	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<p>全体を通じて県民の文化遺産に対する意識や関心が向上し、地域の文化遺産の保存と次世代への継承、地域活性化への機運が高まる。また行政と文化財保護団体、民間団体による協力体制の構築が進む。</p> <p>千葉県無形民俗文化財連絡協議会では無形民俗文化財の記録映像作成により、継承の機運を高め、当会主催の「房総の郷土芸能」への入場者数や当会への協賛者数の増加、ひいては当会に所属する各無形民俗文化財保持団体の構成員数の増加が見込まれる。また千葉県建築士会では育成講座修了者のうち活動者を平成29年度末には92名、31年度末には120名確保され、県内54市町村にそれぞれ2名以上いる状況が作られる。</p>			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：	「房総の郷土芸能2017」 平成30年1月21日（日） 民俗芸能公開事業を県交付金・芸術文化振興基金・夢まるふぁんど助成金で実施予定。		
事業概要：	「千葉県立安房南高等学校旧第一校舎公開事業」 平成29年10月28日（土） 県指定有形文化財の公開事業を県予算で実施予定。		

事業概要：	「文化財探検隊」 平成29年6月3日（土）・9月9日（土）・11月11日（土） 県民から参加者を募集し、地域の文化財や名所等を案内する。
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等	
県内市町村における策定・作成を積極的に進める。	
12 担当部局	
地方公共団体 担当部局課	千葉県教育庁教育振興部文化財課

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 1 :	地域の祭礼行事等への入込客数					(具体的な指標は次のとおり)
具体的な指標 1 :	「房総の郷土芸能」の入場者数			関連事業 :	①	
目標値 1 :	平成 28 年度		700 人	⇒	平成 31 年度 850 人	
設定根拠 1 :	平成 28 年度開催時の入場者数から、年に50人ずつの増加を目指す。					
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	
人	人	人	人	人	人	
目標区分 2 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 2 :	その他					(具体的な指標は次のとおり)
具体的な指標 2 :	千葉県無形民俗文化財連絡協議会への協賛団体・協賛者数			関連事業 :	①	
目標値 2 :	平成 28 年度		17 件	⇒	平成 31 年度 23 件	
設定根拠 2 :	平成 28 年度の協賛団体・協賛者数から、年に2団体ずつの増加を目指す。					
進捗状況 2 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	
件	件	件	件	件	件	
目標区分 3 :	地域の文化資源を核としたコミュニティの再生・活性化					
評価指標区分 3 :	地域の文化遺産を活用した取組数 (本事業の取組を除く)					(具体的な指標は次のとおり)
具体的な指標 3 :	ヘリテージマネージャー育成講座修了者の後年度活動者数			関連事業 :	③	
目標値 3 :	平成 28 年度		78 人	⇒	平成 31 年度 120 人	
設定根拠 3 :	今後年に14名ずつの増加を目指す。					
進捗状況 3 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	
人	人	人	人	人	人	
目標区分 4 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 4 :	祭礼行事への参加住民数					(具体的な指標は次のとおり)
具体的な指標 4 :	西福寺十夜行事での念仏踊りの参加者数			関連事業 :	②	
目標値 4 :	平成 28 年度		0 人	⇒	平成 31 年度 30 人	
設定根拠 4 :	平成29年度に初めて実施。参加者数は20名を目標とし、以後年に5名増加を目指す。					
進捗状況 4 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	
人	人	人	人	人	人	

